

長野県信州そば協同組合

そば（レンジ調理）等

基本情報

対象国 オーストラリア

輸出額 7,022万円（1月末）

加盟者数 16社

主な販売先 現地商社・日系小売

活動地域 長野県

品目数 単一

希望スキーム 間接貿易

備考

「信州そばブランド」を構築し、レンジそば等の商品開発及び改良により輸出拡大

海外向けに「信州そばブランド」を構築し、お湯で茹で上げずに簡便に調理できるNAGANO SOBA(旧レンジそば)等の商品開発及び改良による輸出拡大を行い、生産量、製造量、輸出量を増やす。

団体概要

所在地 長野県長野市

設立年 1970年

事業内容 信州そば（乾そば）の品質向上、技術改良
信州そばの消費者への商品PR

認証取得 -

生産規模 15,000t



取組の経緯／概要

- ・国内市場縮小を背景に、日本の麺に対する需要が拡大すると見込まれる海外向けに「信州そばブランド」を構築するために、商品技術製法のPRや販売実証実験、輸出先国の規制等に適合した商品開発及び改良による輸出拡大を目指す。特に組合が独自に開発した簡易調理が可能で、通常の調理方法で調理したそばよりも栄養・機能性成分が残存し、風味豊かなNAGANO SOBA(旧レンジそば)を世界に向けて発信する。

取組の成果

- ・輸出額：6,612万円（2020年度）→7,022万円（2022年度1月末）→1億5,000万円（2026年度目標）
- ・商談会：国内外で10件の商談機会を獲得（2022年度）
- ・PR実績：オーストラリア・シドニーにて知事トップセール時にPR実施、又メルボルンにてNAGANO SOBAのお披露目&商談会を実施（参加50名、マスコミ3名）（2022年度）
- ・生産量：年間15,000t

取組のポイント

PR段階ではあるものの、補助金事業を通して、組合全体として輸出の取り組みが実現された

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題
1

組合全体として輸出に取り組む必要がある

TASK

課題
2

輸出先国のニーズに沿った商品を開発する必要がある

TASK

課題
3

信州そばの認知度を向上させる必要がある

輸出成功のポイント

補助金を活用して組合全体での輸出取組を推進

補助金事業を通して、商品開発やPR活動等組合全体として輸出の取り組みが可能

レンジ調理そばの開発を促進

保存性試験やレンジ用乾麺茹で容器の開発等、組合全体でレンジそばの開発を促進

信州そばブランドの発信

組合全体で協力して海外輸出に向けた統一商標を取得し、一定の品質を担保することで海外での認知度向上に努める

サプライチェーン別取組

現地ニーズを踏まえた商品開発

- ・ 保存性試験・レンジ用乾麺茹で容器の開発・マニュアル作成・試作品の改良や各社の問題点抽出等、コンサルとも提携して一丸となり輸出促進に尽力

組合全体での統一商標の登録

- ・ レンジで食べられるそばを「NAGANO SOBA」と命名し、ロゴと一体化することで効率的に発信

展示会への出展及び海外試食調査

- ・ 展示会への出展や、試食会等で現地バイヤーとの接点を持つ
- ・ FOODEX等国内イベントにおいてもパンフレットを英字にして海外需要に対応

商品選定・開発

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

現在開発・PR中である、組合での旗揚げ商品「NAGANO SOBA（レンジで食べられるそば）」を発信する。

「NAGANO SOBA」を組合として発信することでブランディングを行い、「NAGANO SOBA」に加えて組合員個別商品の輸出促進も図る。